



利尻町立利尻中学校学校だより

愛郷立志



学校教育目標 『ふるさとを愛し未来を担う生徒の育成』

- ・主体的な学びの姿勢をもち
社会で生きて働く学力を身につける生徒(知)
- ・発信力をもち、積極的に人間関係を築く生徒(徳)
- ・高い目標をもち、自ら心身を鍛える生徒(体)

発行日 令和5年11月30日
発行責任者 利尻中学校 倉 照彦

「何のためにやるのか？ やるからにはしっかり！」 校長 倉 照彦

11月中旬から冷え込みが厳しく、毎週末には悪天候、だいぶ冬らしくなりました。そんな中、各学年では、進路実現を目指したがんばり、リーダーの役割発揮、互いの良さを理解し助け合う姿がみられるようになりました。そんな中、11月の生徒たちの様子で何よりうれしかったのが、子ども文化の集いの姿です。

学校祭から1ヶ月が経つと面倒に思う人が大半ですが、彼等は違いました。先生から「地域への感謝と小学生を応援しよう」と目標が伝えられた後、「やるからには学校祭以上のいいものを見せよう！」と練習に気合いを入れました。

当日は天気が悪い中、多くのお客さんが見に来てくれました。太鼓を響かせ大きく舞う姿を見せることができました。また、自分たちの弟や妹、後輩たちが出ているのを応援し盛り上げました。その温かな雰囲気会場を包み、全体合唱につながりました。「やることの意味、やるからにはいいものを」が意識されると、こんなにできるのかと驚きました。先生方の普段からの指導と、生徒たちが持つ力と温かな心に感動しました。

ここで言いたいことは、12月の活動にも「目的と意識を活かそう！」ということです。目的は、進路実現、リーダーの役割発揮、進級の準備などあります。冬休みまであと3週間。やるからには学習や部活動に努力し、よい締めくくりにしてください。時に不安になったら、仲間や先生に相談したり運動してください。努力するには何より体力が重要です。体力は健康的な生活習慣が必要です。毎日、早寝早起きし、インフルやコロナに注意し元気に3週間をやりきりましょう。



「子ども文化の集い」開催

「北海道教育の日」協賛事業の「利尻町子ども文化の集い」が、11月18日(土)交流促進施設どんとにて開催されました。当日は、利尻町内3つの小中学校の児童生徒が一堂に会して、互いに学芸会や学校祭で発表した内容などを、会場を訪れた観客に披露しました。利尻中は、利中祭で発表した太鼓と演舞から構成された郷土芸能を披露し、演舞に魅せられた会場からは大きな拍手がわき上がりました。仙法志小や沓形小の発表を精一杯応援し、最後には会場全員での「ふるさと」の大合唱を行い、生徒会長の塚本さんのあいさつで、子ども文化の集いの幕を閉じました。



利中12月の行事予定

1	金	3年学力テスト 町PTA連合会理事会
3	日	手をつなぐ子らの作品展(稚内)
4	月	B組振替休業日
5	火	全校朝会
6	水	非行防止教室
7	木	どさんこ子ども地区会議
8	金	参観日・懇談会
11	月	職員会議
18	月	PTA役員会
22	金	冬休み前集会
令和6年1月		
18	木	冬休み明け集会 二計測・視力検査

お知らせ：リングブル回収は12月末で終了します。

利中生大活躍！！

11月は、部活動の大会や各種コンクールの発表がありました。

部活動では、11日(土)に稚内で開催された秋季定期戦で、バレー部が優勝し、3連覇を果たしました。また、4日(土)に名寄で開催されたバドミントンの新人戦でも、利中生の健闘が報告されました。

また、第41回全国中学生人権作文コンテスト旭川地方大会において、2年生の塚本優咲さんが優秀賞(北海道知事賞)に選ばれました。町の交通安全標語では佐々木碧斗君の作品が選出されました。その他にも、町内作品展では、多くの生徒が、書道や絵画で入賞していました。

利中生の活躍にあらためて、拍手を送りたいと思います。

英語特設授業より

11月6日（月）3校時に、東進ハイスクールの講師であり、一般財団法人実用英語推進機構代表理事の安河内哲也先生を講師として、3年生で英語の特設授業が行われました。

授業は、序盤からペアワークなどを通じて、アニメなどのタイトルやキャラクターを英語で何というかを楽しい雰囲気の中で授業が進みました。その後も、授業が静かになることがなく、常に教室中に英語が飛び交い、生徒たちも終始、笑顔があふれていました。最後は、AI時代に必要なことについての講話があり、これからを生きる利中生のみなさんにメッセージを送っていただき、50分がとても短く感じる授業でした。安河内先生からも、生徒たちに感銘を受けたと感想が寄せられ、素敵な授業体験となりました。

また、後日、安河内先生からも「大成功でした」「本当に訪問して良かったです」との言葉をいただきました。

ご多忙の中、お越しいただきました安河内先生と、この機会を企画していただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。



心に響く道徳授業より

11月7日（火）3校時に、心に響く道徳実践事業で、パラリンピアンで日本代表の水泳選手、小野智華子さんに、「2024パリ・パラリンピックを目指して」と題して、オンラインで講演をしていただきました。講演では、全盲でありながら、ご自身の元々の性格や物事の考え方、取り巻く環境や地元の大会から規模が大きくなるにつれての練習と、実戦に臨む中での成功や挫折などの体験を話していただき、「障がいによってできない＝仕方がない」ではなく、「悔しい。だから頑張る。絶対できるようになってやる」という小野さんの強くたくましい意志が伝わり、聞く者に自身の考え方を見直すきっかけや、挑戦する勇気を与える内容でした。

講演後の生徒たちの感想から、「感動した」「勇気をもらった」といった声がありました。



赤ちゃんふれあい体験

11月14日（火）4校時に大志館で、3年生の性教育の授業として、赤ちゃんふれあい体験を行いました。

当日は、ご協力いただいた赤ちゃんのお母さんから話を聞き、3年生一人ひとりが緊張しながらも、赤ちゃんを抱っこさせてもらう体験に臨んでいました。この体験活動は、3年生にとって、自分達の将来を考える上でも有意義な活動でした。

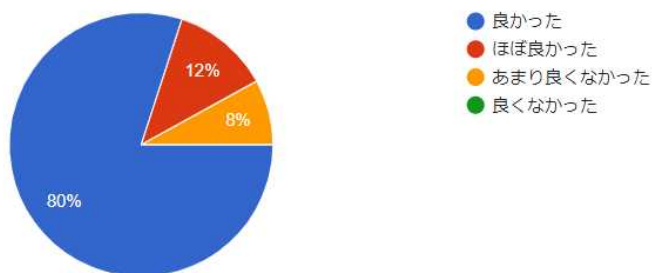
ご協力いただきました保健課ならびに、お子様の抱っこ体験を快く引き受けていただいたみなさま、ありがとうございました。



学校祭保護者アンケートのご協力ありがとうございました

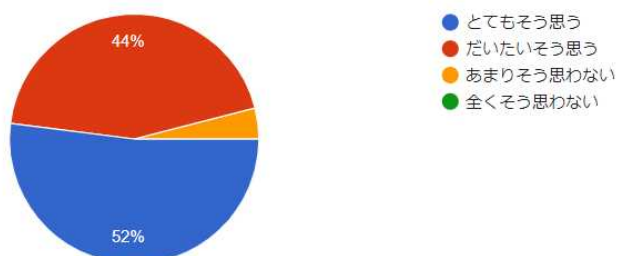
当日の日程（8：45～）についていかがでしたか？

25件の回答



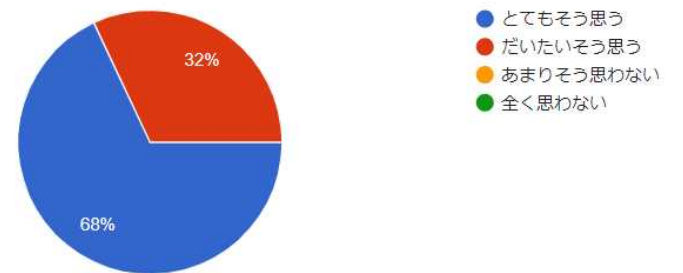
学年発表は、生徒たちにとって、練習の成果が表れ、充実した発表となっていましたか？

25件の回答



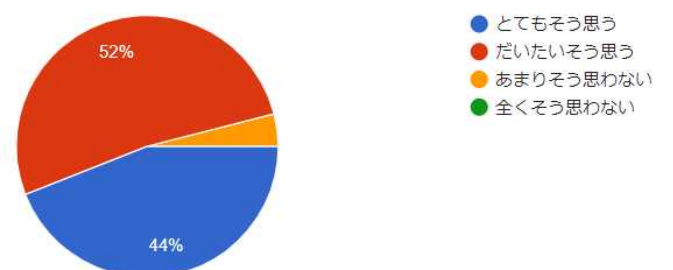
郷土芸能は、生徒たちにとって、充実し感動を得られる発表となっていましたか？

25件の回答



教職員は、生徒が達成感を得られるように、運営及び指導を行っていましたか？

25件の回答



アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。生徒たちや先生方に向けられた激励や労いの言葉、来年度に向けての貴重な意見をいただき、感謝しております。その意見を踏まえ、来年度の教育課程を作成する上で、教科時数の確保と働き方改革、生徒たちの意見や体力面などを考慮しながら、来年度の学校祭の運営について検討していきますので、ご理解のほど、よろしくお願いします。